

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公表番号】特表2009-543315(P2009-543315A)
 【公表日】平成21年12月3日(2009.12.3)
 【年通号数】公開・登録公報2009-048
 【出願番号】特願2009-519062(P2009-519062)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 61/24 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 61/24 S

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

wt%で30% ~ 90.1%の水銀を含有するマンガンおよび水銀から成る組成物を温度200 ~ 450 に加熱することから成る水銀放出方法。

【請求項2】

請求項1に記載の水銀放出方法に用いる組成物を製造する方法であって、密封した反応器内において、真空中または不活性ガス中で、温度500 にて、1 ~ 5時間、所望質量比のマンガンと水銀とを反応させ、得られた反応生成物を減圧下で60 にて熱処理することにより未反応の水銀を除去することを特徴とする製造方法。

【請求項3】

錫と、wt%で30% ~ 90.1%の水銀を含有するマンガンおよび水銀から成る組成物との混合物。

【請求項4】

請求項1に記載の水銀放出方法に用いる水銀ディスペンサーであって、wt%で30% ~ 90.1%の水銀を含有するマンガンおよび水銀から成る組成物の粉末を加圧成型したピル(10)の形態であることを特徴とする水銀ディスペンサー。

【請求項5】

請求項1に記載の水銀放出方法に用いる水銀ディスペンサーであって、wt%で30% ~ 90.1%の水銀を含有するマンガンおよび水銀から成る組成物の粉末を加圧成型した小球体(11)の形態であることを特徴とする水銀ディスペンサー。

【請求項6】

請求項1に記載の水銀放出方法に用いる水銀ディスペンサーであって、wt%で30% ~ 90.1%の水銀を含有するマンガンおよび水銀から成る組成物の粉末(12)を表面に堆積させた金属ストリップ(13)から作製された切片(14)の形態であることを特徴とする水銀ディスペンサー。

【請求項7】

請求項1に記載の水銀放出方法に用いる水銀ディスペンサーであって、wt%で30% ~ 90.1%の水銀を含有するマンガンおよび水銀から成る組成物の粉末を内部に充填した開放容器(16)の形態であることを特徴とする水銀ディスペンサー。

【請求項8】

請求項3に記載の混合物を押し出し成形した連続材(20)を切断して形成した水銀ディスプレイ(21)。